

「第 15 期ちえのわ農学校」報告 報告と新年度の募集内容です。

2019 年度代表 橋本和幸(東京学芸大学 3 回生)

皆様こんにちは！ 私は東京学芸大学サークルちえのわ、第 15 期(2019 年度)代表 橋本和幸です。私たち「ちえのわ」は、学芸大学構内にある教材植物園(農園)で地域の子どもたちと食農文化体験活動をしています。また、INCH が開催しているキャンプにもスタッフとして参加させていただいたりもします。今回は、この場をお借りして私たちの活動「ちえのわ農学校」の紹介と、来年度 4 月から始まる「第 16 期ちえのわ農学校」の募集をさせていただきたいと思っております！

【ちえのわ農学校とは】

「サークルちえのわ」は東京学芸大学のサークル。スタッフのほとんどが大学生で、教育・自然体験・農体験に興味を持って集まりました。「色々な体験、ちえのわ農学校でしか出来ない体験をしてほしい！」そんな思いを持って、4 月から翌年 1 月まで毎月 1 回(全 10 回)、「ちえのわ農学校」を地域の子どもたちに向けて開催しています。そんなサークルちえのわは、3 つの“わ”を理念として活動を行っています。

*自然のわ：自然の様々な表情と向き合いながら、「種から胃袋まで」の道のりを五感で感じるきっかけづくりをする。

*人のわ：農学校だからこそ出来る体験を通じて、子どもたちが仲間やスタッフとのつながりを感じられるきっかけづくりをする。

*知恵のわ：昔から受け継がれてきた知恵や文化にふれ、身近なものを見つめなおし発見するきっかけづくりをする。
ちえのわの活動の柱となっているのは、畑と田んぼでの活動です。

畑では一年を通じて夏野菜と冬野菜の栽培をします。毎年最初の活動で子どもたちは畑に種を植え、それから収穫まで毎月畑のお世話をします。今年(第 15 期)の活動では、夏はオクラやカボチャ、トウモロコシやスイカなどを育て、冬には大根や白菜、ほうれんそうなどを育てました。持って帰るのが大変なほど大きく育った野菜もありました！

田んぼでは米作りをしています。5 月に泥だらけになりながら田植えをして、毎月稲の成長を記録し、田んぼに触れています。10 月になると、稲は大きく立派に育ち、それを刈って、干して、その翌月には脱穀・精米、そして 12 月の活動ではみんなでおいごりを作って美味しく食べました！もち米も育てたので、1 月には餅つきもしました。

この二つの柱となる活動に加えて、毎月その季節に合った企画を用意して活動しています。今年は例えば、タケノコ掘りや染めもの、流しそうめんに焼き芋、竹工作・わら工作などなど！それぞれの季節ごとに企画を考え、みんなで楽しく過ごしました。8 月には農園で 1 泊だけですがキャンプもしました。

【第 15 期の活動を振り返って】

さて、ここまでちえのわ農学校について紹介させていただきました。ここからはせっかく頂いた場なので、私個人の視点から、感想などを含めて今年の活動の話をしていきます。

私は、15 期サークルちえのわの代表を務めました。私が代表として行った初めての活動である 4 月農学校の光景は、1 年近く経った今でも鮮明に覚えています。そして私だけでなく、子どもたちにとっても最初の農学校。しかも 15 期は初めて農学校に参加してくれた子どもも多く、大きな緊張や不安の中にいた子もいると思います。けれど、いざ農園に来て、自然やスタッフと触れあいながら楽しく活動していたのを見て、「15 期ちえのわ農学校もきっと良い

農学校になるだろう」と確信し、「良い農学校にしていこう」と誓いました。大げさかもしれませんが本当です。でもそれは、きっと私だけじゃなく、スタッフみんなが思っていた筈です。実際、15 期農学校はとても楽しく、充実したものになったと思います！

さて、そんな 4 月農学校ではタケノコ掘りを行いました。全然見つからず苦戦していたり、見つけたタケノコを夢中になって掘っていたり、いろいろな姿が見れました！また、先ほども言ったとおり、4 月は種や苗を植える始まりの季節です。これから時間を共に過ごす畑で最初の活動も行いました！



それから、移り変わる季節を感じながら、様々な活動を行ってきました！

これは5月の田植えの様子。スタッフと子どもが一丸となって、田んぼにお米の苗を植えていきます。田植え初体験の子も多く、みんな泥だらけになりましたが、一生懸命植えていました。



いつも何気なく食べているお米ですが、苗から触れ、経験することは、子どもにとっても、そしてスタッフにとっても貴重な経験になってくれたら嬉しいなあと、思ったりしていました。

10月には、こんなに大きく稲穂が成長して、稲刈りをすることができました！



雨が続いた後の稲刈りで、悪条件ではありましたが、みんなの頑張りで、無事刈ることができました。

そしてこちらは畑の様子。1年を通して畑のお世話をしていく中で、みんなの手つきが慣れてきて、畑に詳しくなっているのかなと頼もしく感じました。



保護者さんから、「持って帰った野菜をお家で美味しくいただきました」と報告されるたび、本当に嬉しく思っていました！ 持って帰れなさそうなほど大きく育ったのは、スタッフの予想を遥かに超えてましたが、それでも、みんなが真剣に畑に向き合ってくれて良かったです！

こちらは8月農学校で行ったヤマメさばき。一人一人が慣れないながらも頑張ってヤマメをさばき、そして命と向き合いました。



「お泊り企画」というのがメインの8月農学校ですが、イナゴを取って佃煮にしたりなど、「命」や「食」についても触れられたんじゃないかなあと思ったりします。お泊りも、とても楽しく一晩を過ごせました。皆で泊まる経験は、「ちえのわ」を一層強い“わ”で結んでくれました。他にも8月はINCH主催のキャンプに農学校の子も参加してくれて、忙しくもとっても楽しい毎日でした。

毎月企画を考え、準備し、運営していくのは本当に大変でした。けれど振り返れば、自信を持って「楽しかった」と言えます。色んな季節を色んな子ども達・スタッフと過ごせたのは、幸せでした。これからも、楽しい農学校を続けていけたらと思っています！

そんなちえのわですが、興味を持っていただけたら是非、ちえのわのHPやブログを見てみて下さい。長くなってしまいましたがここまでお付き合いいただき、ありがとうございました！

東京学芸大学第15期サークルちえのわ
代表 橋本和幸

【第16期 ちえのわ農学校について（募集要項）】

□活動要旨

正式名称：ちえのわ農学校

対 象：小学校3年生～中学校3年生までの男女18名（抽選有）

スタッフ：東京学芸大学学生を中心に30名程度

場 所：東京学芸大学 環境教育研究センターおよび教材植物園(彩色園)

費 用：実費負担年額 15,000円（食費、保険、材料費等）

主 催：東京学芸大学サークルちえのわ URL: <http://www.gakugei-chienowa.org/>

共 催：NPO法人「自然文化誌研究会」 URL: <http://www2.plala.or.jp/npo-inch/>

後 援：小金井市教育委員会

□2020年度 年間予定

月1回の土曜日（全10回） 10:00～17:00（4～7月）、10:00～16:00（9～1月）

（日程・内容ともに変更する可能性があります。）

日 程	4/18	5/16	6/13	7/11	8/22-23 (宿泊)	9/12	10/10	11/14	12/12	1/23
活 動 内 容	開校式、農園散策夏野菜の種まき	田植え	かかし作り	竹工作	夏野菜料理 ヤマメさばき	冬野菜種まき	稲刈り	脱穀・粳すり 精米	もちつき、稲わら工作	修了式
	夏野菜の栽培					冬野菜の栽培				
	田植えから脱穀・粳すり・精米までの稲作体験、野菜の栽培・調理、自然を対象にした企画など									

※活動内容で未定な部分もありますが、子どもたちのやりたいことを聞きながら決めていきたいと考えています。また自由時間や季節ごとの農園散策、おやつ作りなどを通して、子ども一人ひとりがふと感じた興味を大切に活動していきたいです。

○参加の申込方法

まずはお早めにメールをしてください！！

申し込みに必要な情報を書く（事前に必要事項をもらう）必要があります！！

①お問い合わせ→資料をお手元に

ちえのわ農学校のメールアドレス(gakugei_chienowa@yahoo.co.jp)にメールを送信してください。

参加希望の旨、お子様のお名前と学年、保護者住所・お名前を書いてください。

②資料を受け取る

ちえのわ側がメールを受け取ると1週間以内に返信があります。1週間以内に届かなかった場合、ご連絡ください。

③お申込み

2019年3月29日(日)必着で申込書を、郵送またはメールで必要事項を記入の上で送ってください。

宛先：〒184-8501

東京都小金井市貫井北町4-1-1 東京学芸大学 サークル ちえのわ

Mail: gakugei_chienowa@yahoo.co.jp

問い合わせ先：070-2175-0558（奈良）

参加希望の方、まずはお問い合わせください～！3/29は問い合わせではなく、申し込みの必着日になります！！